



【内閣官房ホストタウンアクション】



モンゴルへ ランドセルを贈ろう！

日本のランドセルは軽くて丈夫で世界的に人気があり、小学校6年間使用した後も、まだまだ、使うことができます。モンゴルでもランドセルはとても人気がありますが、なかなか手に入れることができません。

モンゴル国と島田市は毎年、子どもたちが交流したり、モンゴル国ボクシングナショナルチームがオリンピック事前合宿を開催したりと近年、交流が盛んになっている国です。

そこで、交流の一環としてモンゴルの養護施設や生活保護世帯を中心とした子どもたちにランドセルを贈り、通学に役立てていただきたいと思います。

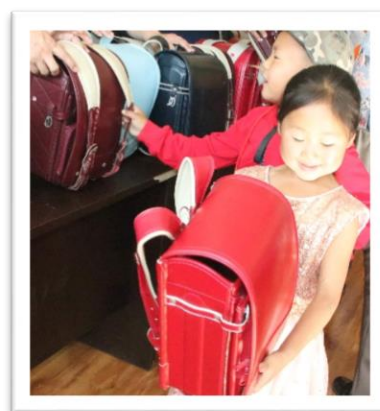
押入れの奥にしまいこんだままのランドセルはありませんか？モンゴルの子どもたちも楽しみにしています。

ぜひ、ランドセルの提供にご協力ください。

- 提供物・・・ランドセル
- 提供方法・・・オリンピック・パラリンピック推進室(市役所2階)
金谷北支所、金谷南支所、川根支所に持参
- 収集期間・・・令和2年3月1日～5月末日
- 輸送方法・・・30kgごと船便で送付
- 贈呈先・・・バヤンゴル区養護施設(モンゴル国ウランバートル市バヤンゴル区役所)
- その他・・・修理等が必要なものは受け付けません



市民からの提供



モンゴルの新一年生

問合せ

島田市産業観光部 オリンピック・パラリンピック推進室(松本・加藤・植原)

〒427-8501 島田市中央町1番の1

電話 0547-36-7214(直通) F A X 0547-37-8200(代表)

